

蜻蛉の羽化

6月1日（火）朝6時30分ごろ。いつものように、学習園に水やりをするなど見回っていて、花壇近くの手作り池に来ると。



抽水植物に
羽化途中のヤゴ
を見つけました。

多くの昆虫は、捕食者から身を守るために、深夜から早朝にかけて羽化すると言われています。

話には聞いていましたが、実際に目にするのは初めてです。

ですが、動いていないので、もう死んでいるのではと思いました。
1枚写真に撮って、そのまま理科室へ上がってしまいました。

1時間目の4年生の理科の学習が終わり、休み時間に百葉箱での気温をはかる学習のために運動場へ移動。

この時、朝のヤゴの羽化のことを思い出しました。何人かの4年生3組の児童たちと見にいくと。



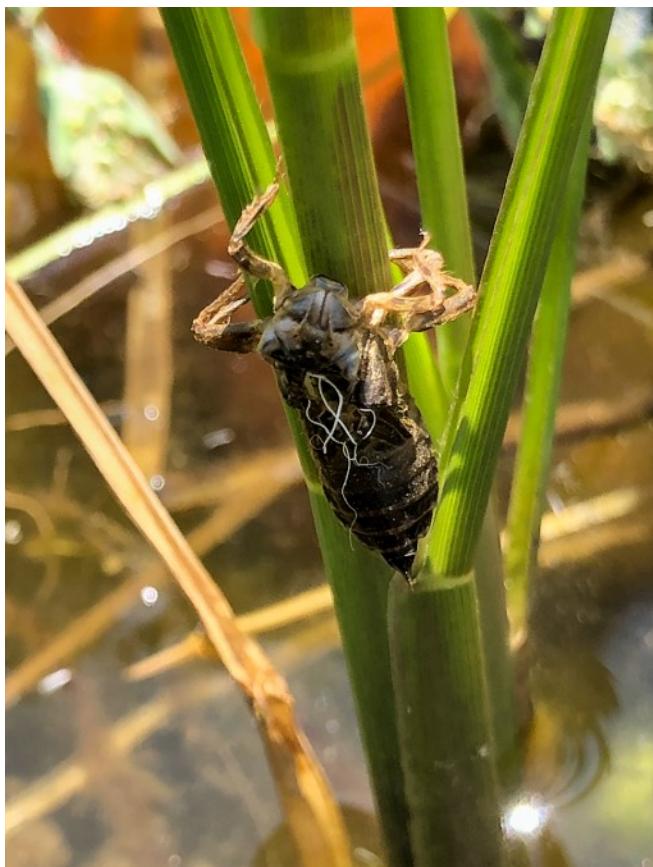
すっかり
成虫に
なっていました。

死んでいなかったのですね。今にして思えば、タイムラプス撮影などして、抜け出す過程を記録できたのではと思うと残念です。惜しいことしたなぁ～。
でも、一緒に見に来た児童たちと観察できてよかったです。

それにしても、長い時間かけて羽を伸ばすのですね。周りにはスズメやイソヒヨドリなど、昆虫を好む捕食者がいる中、無事に成虫になることができました。

あとは無事に飛んでいってくれることを祈るばかりです。

お昼の時間に、もう一度見にきました。



もう、トンボの姿は
なく、
無事に飛び立てた
ようです。

本田小学校で見られるトンボの仲間やWebページ上の図鑑などから、シオカラトンボの
めすだったのではないかと思います。

トンボが飛ぶようになると、もうじき暑い夏がやってきます。

おっと、プールのことを忘れていました。
きっとプールの中にもたくさんのヤゴたちがいるはず。
調べてみよーっと！